

I-4 画像解析 ノートパソコンの設定方法

2009年4月5日 山下 淳

(1) 実験用ディレクトリ（フォルダ）の作成

実験用のディレクトリ（フォルダ）を適宜作成し，実験で使用する画像ファイルとプログラムをコピーする．

(1-1) フォルダの作成

フォルダの名前や場所は自由に決めることができますが，以下では標準例を示します．

例) Cドライブの直下に“ImageAnalysis”というフォルダを作成します．

(1-2) 画像ファイルのダウンロード

山下のホームページ(<http://sensor.eng.shizuoka.ac.jp/~yamasita/index-j.html>)の講義のページのうち，2009年度前期 機械工学実験(画像解析)へ移動し，画像ファイルをダウンロードします．または，直接以下のURLを指定して頂いても結構です．

<http://sensor.eng.shizuoka.ac.jp/~yamasita/lecture/2009/experiment/image/>

ファイル名の先頭がAのものは実験(その1)用，Bのものは実験(その2)用で，実験ではAとBでそれぞれ1つずつ，合計2つのファイルを使用します．

どの画像ファイルをダウンロードすれば良いかは，実験中に指示します．

実験時には画像ファイルが入ったCDを準備してありますので，CDからコピーすることができます．なお，事前に画像ファイルを全部ダウンロードしたい場合には，ホームページの指示に従って一括ダウンロードを行うこともできます．

例) 34番の画像を使用するように指示された場合，A034.bmpとB034.bmpをダウンロード(もしくはコピー)する．

(1-3) 画像ファイルの移動

ダウンロードもしくはCDからコピーした画像ファイルを(1-1)で作成したフォルダに移動させます．必ず作成したファイルの直下に画像ファイルを移動させて下さい．

例) A034.bmpとB034.bmpをC:\ImageAnalysisに移動させる．

(1-4) プログラムのダウンロードと解凍

画像ファイルと同様に，実験で用いるプログラムのファイルも講義のページからダウンロードします．または，直接以下のURLを指定して頂いても結構です．

<http://sensor.eng.shizuoka.ac.jp/~yamasita/lecture/2009/experiment/program.zip>

ダウンロードしたファイルは解凍して下さい．binary.exe，contraction.exeなど合計15個のファイルができます．なお，実験時にはプログラムもCDからコピーすることができます．

(1-5) プログラムの移動

ダウンロードもしくはCDからコピーしたプログラムのファイルを(1-1)で作成したフォルダに移動させます．必ず作成したファイルの直下に移動させて下さい．

例) 15個のプログラムのファイルをC:\ImageAnalysisに移動させる．

(2) コマンドプロンプトでのディレクトリ移動

「スタート」「すべてのプログラム」「アクセサリ」「コマンドプロンプト」を選択し，コマンドプロンプト画面中において自分が作成したディレクトリに移動する．

例) コマンドプロンプトの画面で cd C:\ImageAnalysis (Enter) と入力する．

その他：画像ファイルをダブルクリックしてもWindowsのペイントが起動しない場合

ペイントは「スタート」「すべてのプログラム」「アクセサリ」「ペイント」にあります．